平成２６年第１１回大仙市教育委員会定例会会議録

平成２６年第１１回大仙市教育委員会定例会を平成２６年１１月２１日（金）午後２時から大曲図書館において開催した。

出席委員

物　部　長　仁
鈴　木　直　樹
竹　原　まゆみ
三　浦　憲　一

説明員

教育指導部長	小笠原　　晃
生涯学習部長	滝　沢　清　寿
教育総務課長	佐　藤　彰　洋
教育指導課長	千　田　寿　彦
教育研究所長	須　田　百合子
生涯学習課長	山　谷　喜　元
文化財保護課主幹	高　橋　明　子
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館長	大　河　洋　子
神岡中央公民館長	石　山　雄　康
西仙北中央公民館長	嵯　峨　耕　咲
中仙公民館長	草　薙　祐　喜
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	小　松　　徹
太田公民館長	安　達　成　年

書記

教育総務課参事	藤　井　吉　美
教育総務課主幹	田　口　広　龍

物部委員長
（開会の挨拶）
（書記の指名）
（前回会議録を承認することについて、会議に諮り、承認された。）
早速、教育長報告に入らせていただきます。三浦教育長、お願いいたします。

三浦教育長
（資料により教育長報告を行った。）

物部委員長
ありがとうございました。続きまして、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。教育総務課長、お願いします。

各課・所・館長
（資料により教育委員会各課・所・館から事務事業・行事報告を行った。）

物部委員長
ありがとうございました。以上、教育長報告をしていただきました。
ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

鈴木委員
盛りだくさんの事業がありまして、本当に皆様、御難儀だったなと思いました。資料を見るだけで、どれだけ大変だったのか改めて思ったところであります。
滞在型の学校視察というのがありますが、これは滞在中、複数の学校を回られるのでしょうか。それとも一つの学校に集中的に滞在するということでしょうか。

教育指導課長
足立区の指導主事、教員１５名の場合ですが、小学校教員が花館小学校に１週間付きっきりで滞在しました。そして、中学校教員の場合は仙北中学校に滞在しました。中学校の場合は主に数学と英語の先生でありまして、仙北中の数学と英語の時間割のところにびっちり付くという感じでした。基本的には、児童生徒の朝の登校から下校までいろんな生活指導、生徒指導、学級会あるいは学級指導等も含めて、どんな風に秋田県の先生が頑張っているかそれを勉強していきたいということでびっちり付いて研修していただきました。鹿児島県鹿屋市の場合は、数学の教育専門監の指導法に学びたいということで、中仙中に数学の教育専門監がおりますけれども、その教育専門監が仙北中に回る日もありましたので、その日は一緒に仙北中に行ってもらって見ていただきました。この滞在型の方々は、見るだけではなく一緒にチームティーチングで授業に参画するなど踏み込んで研修していただいております。最終日は、いずれも大曲中学校の公開研究会に参加していただきました。高知県の方々については大曲中学校をまずベースとしまして同校の英語科の指導方法

を中心に勉強しましたが、滞在期間中に仙教研の研究会がありまして協和小中学校が外国語活動と英語の会場でしたので、こちらに参加していただきましたし、高知県の場合もチームティーチングで一緒に授業を行い研修していただきました。このほか、大曲小学校の外国語活動も参観していただいております。

鈴木委員
　一つぐらいでいいんですが、良いところ悪いところなど何か感想があったものでしょうか。

教育指導課長
　いただいた感想は、まず秋田県の先生方が非常にきめ細かく指導しているということ、それから、良く研修して組織として指導方法などをみんなで取り組んで、同じ方向性で取り組んでるということが良く分かったという感想をいただいております。

竹原委員
　南外公民館の食育体験交流事業「そば打ち体験」が中学生を対象にというのが面白いなと思いまして、でも、そば打ちって結構難しいので、みんなうまくできたのかなと心配なんですが、どんな具合だったでしょうか。

南外公民館長
　中学生は小学５年生から体験しているせいか割と上手で、スムーズな体験ができているということでした。そばの会の皆さんもベテランになりまして、地域祭とかその他の行事でもそば打ちしたりして教え方もすごく上手だということでスムーズな流れで体験ができたということでした。是非、機会がありましたら地域祭などにお越しいただいて食べていただきたいと思います。一般に売られているものと見劣りしないということで好評をいただいているところであります。昨年は協和の会の方々も南外までわざわざ来て「そば打ち体験」をしていただいております。

物部委員長
　よろしいですか。ほかにございませんでしょうか。

委員（なし）

物部委員長
　学校視察も大変多くて、関係する皆様も大変な御苦労だと思います。来ていただいた先生方には本当に勉強になると思います。全国の教育レベルが上がれば、大いに結構なことだと思います。
　それでは、教育長報告はこれで終わりにいたします。今日は付議案件はございませんので、その他に入ります。何かございますでしょうか。

教育総務課長
　皆様にお配りしております中仙地域スクールバス運行業務委託について御報告させていただきます。
　この春に市長との協議で、来年度から中仙地域のスクールバス運行を民間委託するという方針で進めてまいりました。ところが、今年度貸切バスの運賃が改定されました。これにより料金が２倍近くになったということで、先般、再度市長協議を行ったところです。
　改定内容についてですが、旧制度ではキロ制運賃、時間制運賃のどちらかを選択して運賃を設定することができました。新制度ではキロ制運賃と時間制運賃を合算する新しい計算方法となったわけでございます。新制度は観光バスを対象としたもののようです。痛ましい高速道路での交通事故がありましたが、これの改善策として運転者の安全、あるいは健康への配慮などを含めましての改正だということであります。
　業界の方々の話によりますと、全国の陸運局にバス会社などからかなり問合せや苦情がいっているようで、運賃の高騰により客離れも激しく死活問題だということでした。陸運局に問い合わせましたところ、こうした状況から時間制運賃の見直しがされているそうです。今、契約すれば新制度に基づき、契約しなければなりません。私どもの方針といたしましては、プロの業者の方々にお任せして子どもたちの通学の安全確保をしたいという方針に変わりはないものの、金額の面で流動的な状況にあるのであれば、来年度まで現状の方式で運行し、時間制運賃の解釈あるいは運用の変更を見極めて再来年度以降の運行委託契約を締結したいということで市長との協議が整ったところです。
　現在のスクールバスは老朽化しておりますので、必要な修繕等を行って安全確保に万全を期したいと考えております。
　以上、方針転換したわけでございますが、このような事情がございましたので、御報告させていただきました。

物部委員長
　ただいま教育総務課長から中仙地域のスクールバス運行業務委託について御報告がありました。要するに改正によってかなり高くなるので、現状の方式により来年度も運行して解釈の変更や運用が見直されれば、複数年の契約を結びたいということの様子見ということですね。御質問ありますか。

鈴木委員
　見直しがあって安くなってから契約するというのは、理解できます。

教育総務課長
　教育委員会の方針といたしましては、あくまでも通学の安全確保ということを前提に進めております。

物部委員長
　西仙北、協和の地域はどうなるものでしょうか。

教育総務課長
　西仙北につきましては、旧制度での契約期間がまだ残っておりますので、この間はこれまでどおりです。協和につきましては、バス定期券ですので、バス運賃が上がらない限りはこれまでどおりです。

物部委員長
　安全で安いスクールバス運行をお願いしたいと思います。続いて、防災教育「生き抜く力育成」事業について資料が配られているようですが、これの御説明をお願いいたします。

教育指導課長
　今年度、防災教育「生き抜く力育成」事業につきましては、手厚い予算措置をしていただいたということで、各学校が積極的に活動に取り組んでくれています。大きな柱は、交流活動によって防災意識を育むということと、避難所開設の訓練をモデル校として積極的に実施していくという二つの柱があるわけであります。これは、今年度の取組状況について、各学校から情報、データをいただいて一冊にまとめたものであります。最初の方には取組の概要を一覧にまとめ、次のページからは各学校の取組の様子をまとめました。来週２５日に市長、職員が宮古市など被災地に行く予定で私も同行させていただきますが、その際にもこの冊子を配ってきてこのように交流させていただいておりますと報告したいと思っております。

物部委員長
　大変充実した内容になってきたなと、素晴らしいなという印象です。
　ほかにございませんでしょうか。

教育指導部長
　今年の活動の特色は、平和中学校が地域の協力を得て大曲の花火を被災地に披露したということと、大曲中学校の生活科学部の子どもたちがお菓子を開発してそれを売った資金を交流活動に使いたいということで、学校祭とか市役所で販売して協力金を得て活動したということであります。子どもたちがいかにして自分たちの活動を現実のものにするかというところまで中学生は考えてくれています。そして、小中学校連携で、南外は支所長、館長が地域をまとめて一緒に小中学生と行ってくださっているとかそういう広がりが非常に出てきている活動かなと思っております。太田中学校は前々から地域と共に交流しているわけですが、この後、確か交流の発表会も地域全体でやってくださると聞いております。

物部委員長
　各学校にも広がっていましてね。意識も高まってすごいと思います。

三浦教育長
　学校だけではなく最近は仮設住宅を回っているんですね。合唱をやったり、踊ったり、心を癒してくるということで大変感謝されているようです。

物部委員長
　ほかにございませんでしょうか。

中仙公民館長
　ドンパルでございます。「須川展也サクソフォン・リサイタル」ということで１２月１４日に開催予定であります。衆議院議員選挙の日と重なってしまいました。須川展也さんは、日本が世界に誇るクラシックのサクソフォン演奏者でしてドンパルに来ていただくのは非常に光栄であります。まだ、チケットに余裕がございますが、料金は一般が３，０００円、大学生以下が１，０００円、親子券が３，５００円、それから学生応援チケットというものを作らせていただきました。学生に無料で観せたいんだけれども、その学生を応援してくださいということで、３，０００円のチケットを４，０００円で買っていただいて、一人は３，０００円ですけど、もう一人１，０００円分は学生を招待してくださいということで学生応援チケットというものを売っております。実はヨーロッパではお金持ちの人が学生に無料で寄附したりしているようなことがありますので、それをまねてみました。大仙市内の中学校、仙北市と美郷町の中学校、県南の高校に、無料で招待しますので、鑑賞希望の方はお申し込みくださいとお知らせしております。学生応援チケットの売れた枚数の分だけ先着順で学生を無料で招待するということであります。目標は鑑賞希望１５０人、学生応援チケットの売上げが１５０枚を見込んでおりますが、是非、御鑑賞をお願いするとともに、学生の応援にも御協力いただきたいと思います。当日、お越しできない場合でも、学生の分だけでも御協力願います。よろしくお願いします。

物部委員長
　学生の分だけでもというと１，０００円ということですか。

中仙公民館長
　１，０００円のチケットを買っていただいて、それをドンパルに預けていただければ、申し込んでいただいた学生を招待したいと思っております。

物部委員長
　どうか皆様よろしくお願いいたします。ほかにございましたら、お願いいたします。

教育総務課長
　１２月の定例会の開催日についてです。１２月２２日月曜日午後２時から大曲図書館で開催したいと考えております。よろしくお願いいたします。

物部委員長
　次回は、１２月２２日月曜日午後２時から大曲図書館で行います。委員の皆様、御都合よろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

物部委員長
　それでは、次回の定例教育委員会はそのようにいたします。ほかにございますでしょうか。

（なし）

物部委員長
　今年も年末が近づいてまいりました。衆議院の選挙などもありましてにぎやかな年末になりそうですが、どうか皆様方一年締めの月、御健康に留意されまして今年を締めていただきたいと思います。学校も安全で過ごしていただきますようにお願いを申し上げまして今日の定例会はこれで終了いたします。どうもありがとうございました。

閉会時間　午後２時０５分